

# 「環境」「安全」「活力」「生活」の各視点からみた広域的な緑のあり方

「環境」、「安全」、「活力」、「生活」の緑の基本方針における広域的な緑のあり方を以下のように設定します。

## ●「環境」の視点からみた広域的な緑のあり方



## 都市を取り巻く大規模な樹林地や都市を流れる大河川沿いの緑地の保全

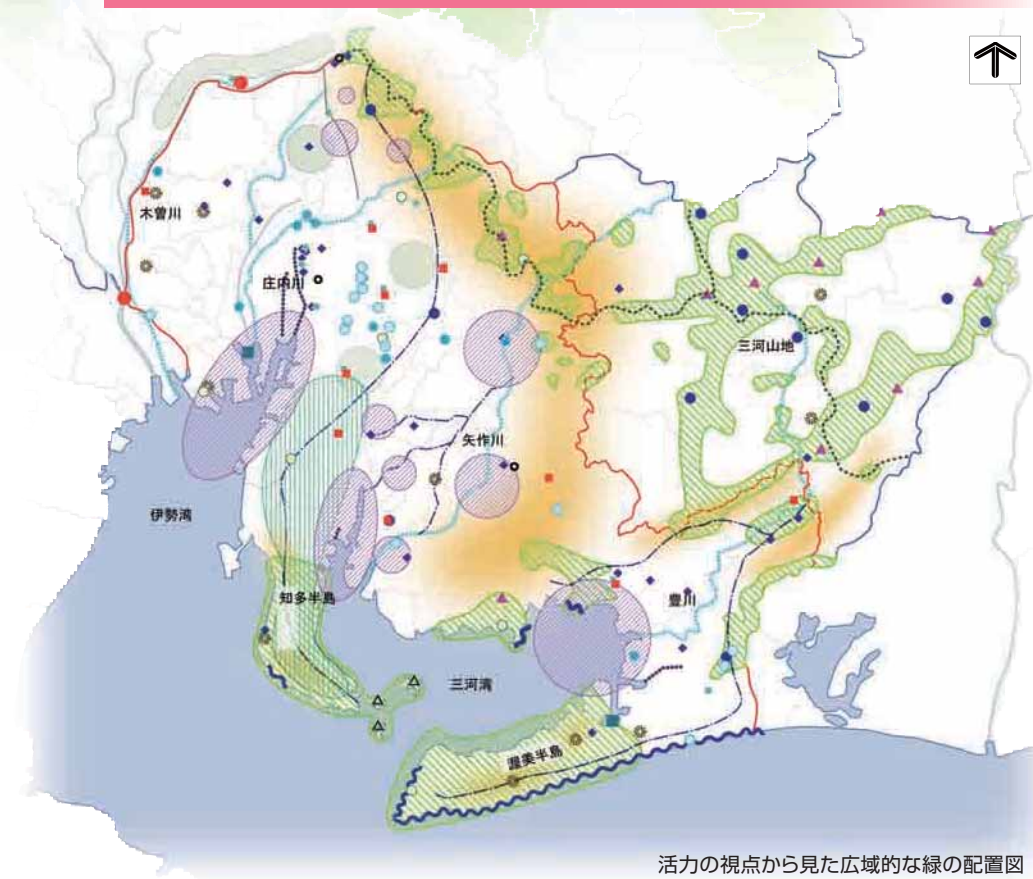
●地球環境の保全に貢献し、本県の都市を取り巻いて都市環境の保全に役立つ大規模な樹林地、また、都市を流れ、風の道となる大河川沿いの緑地の永続的な保全を目指します。

## 生態系ネットワークを形成するコアエリア、コリドーの確保

●豊かな生態系が維持されている里山等をコアエリアとし、それらを河川、道路の緑などによるコリドーでつなぎ、生物多様性に配慮した水と緑のネットワークの強化を図ります。

凡 例	
県界	—
都市計画区域界	—
市町村界	—
市街地	■
本市域の緑地	■
大河川	—
里山	■
湿地・湿原(群)	■
湖沼・池	■
ため池群	■
自然海岸	■
干潟・アマモ場	■
山	■
天然記念物	★
農地	■
国定公園、県立自然公園(特別地域)	■
国営公園	●
広域公園	■
都市基幹公園	●
その他の都市公園	●
公共施設緑地	○
大河川、主要な河川	—

## ●「活力」の視点からみた広域的な緑のあり方



## 広域的な交流拠点となる緑の確保

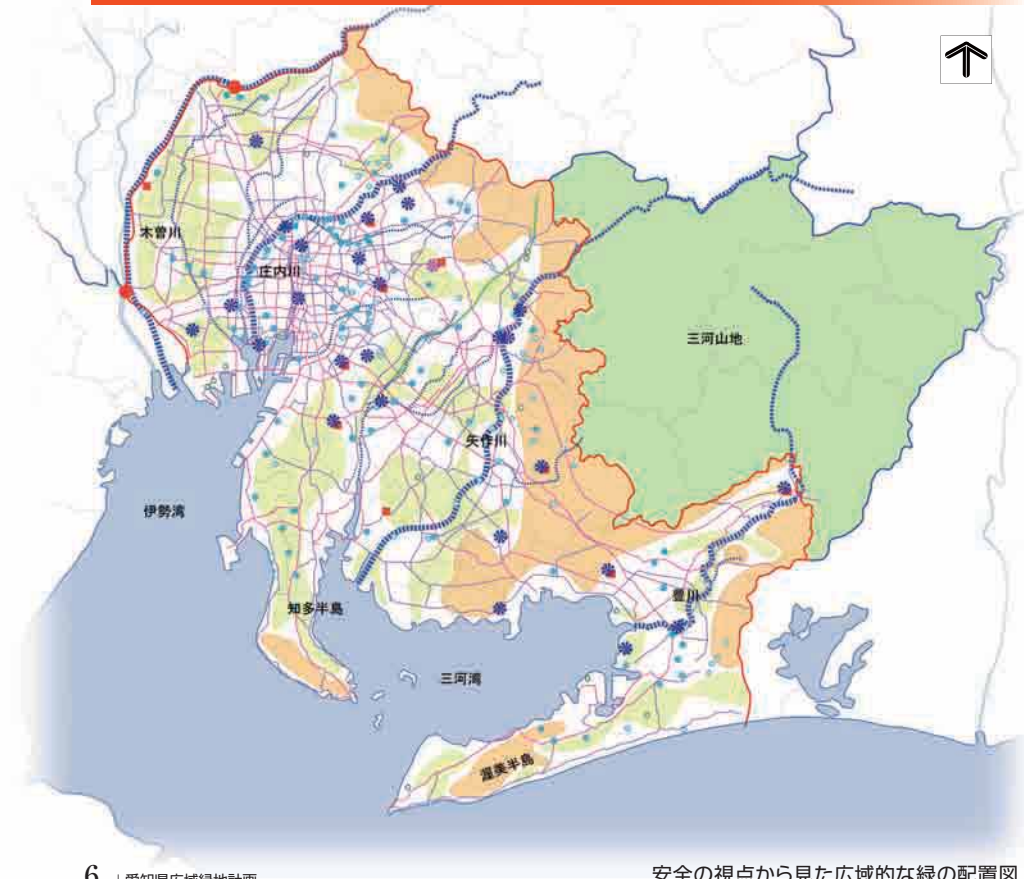
●愛・地球博記念公園など、広域的な交流拠点となる国営公園、広域公園の整備を図ります。

## 地域の歴史・景観資源となる特色ある緑の保全

●地域の歴史・景観資源となる特色ある緑地として、愛知らしさを示す景観を構成する緑を保全します。

凡 例	
県界	—
都市計画区域界	—
市町村界	—
国営公園	●
広域公園	■
50ha以上の都市基幹公園	●
50ha以上のその他の都市公園	●
50ha以上の公共施設緑地	○
河川	—
里山	■
山	■
湖沼、ため池、湿原	■
知多半島のため池群	■
海岸	■
島しょ	■
干潟	■
国定公園・県立自然公園	■
東海自然歩道	—
文化財等の緑	■
古戦場	■
近代化遺産等の緑	○
運河	—
公園・緑地・広場	■
工業地帯の緑	■
農業の緑、農地	■
農業用水	—

## ●「安全」の視点からみた広域的な緑のあり方



## 東海・東南海・南海地震や風水害等の被害を軽減する緑の確保

●地震や大雨などによる土砂災害を抑制する市街地周辺の緑地を保全します。

●浸水被害を軽減する市街地周辺の農地等を保全します。

●広域公園等の拠点となる公園は、愛知県地域防災計画を踏まえて災害時の活動拠点として整備を進めます。

凡 例	
県界	—
都市計画区域界	—
市町村界	—
国営公園	●
広域公園	■
都市基幹公園	●
その他の都市公園	●
公共施設緑地	○
第1次緊急輸送路	—
第2次緊急輸送路	—
大河川、主要河川	—
土砂災害の防止に資する緑地(がけ、急な斜面の緑地)	■
避難の円滑化に資する緑地	■
避難の円滑化に資する緑地	■
保水機能の維持に資する緑地	■
中核広域防災活動拠点	■
広域・地域防災活動拠点	■
国営公園	●
広域公園	■
都市基幹公園	●
その他の都市公園	●
公共施設緑地	○
第1次緊急輸送路	—
第2次緊急輸送路	—
大河川、主要河川	—

## ●「生活」の視点からみた広域的な緑のあり方



## 多様な主体の身近な緑の充実による、河川を軸とした市街地内の水と緑のネットワークの形成

●多様な主体により身近な緑を充実させ、河川を軸として、市街地内に点在する既存の緑(民有地、公園、緑地等)とともに水と緑のネットワークを形成します。

## 緑道、広域公園、都市基幹公園等の整備による健康づくりの場となる緑の確保

●ウォーキングなどを楽しめる緑道や緑豊かな大規模自転車道のほか、レクリエーションの拠点となる広域公園や都市基幹公園等の整備により、健康づくりの場となる緑を確保します。

凡 例	
県界	—
都市計画区域界	—
市町村界	—
大河川、主要な河川	—
主要な河川周辺	—
その他の河川周辺	—
主要な緑道、自転車道	—
自然歩道	—
国営公園	●
広域公園	■
都市基幹公園	●
その他の都市公園	●
公共施設緑地	○
緑豊かな市街地(緑被率30%以上)	■
農地	■

注) 緑豊かな市街地は、緑被率30%以上の市街地を市町村単位で示している。

# 広域的な緑のあり方

「環境」、「安全」、「活力」、「生活」の視点からみた広域的な緑のあり方を総合的にとらえると、本県の都市を取り巻く三河山地などの大規模な樹林地は、都市環境の保全などの多様な機能を持っており、4つの大河川(木曾川、庄内川、矢作川、豊川)や自然海岸、干潟等とともに、県土の骨格を形成する重要な緑地として保全していく必要があります。

これに加え、都市環境や生物多様性を保全し、交流、防災、健康づくりなどの多彩な活動の拠点となる国営公園や愛・地球博記念公園を始めとする広域公園などの都市公園の確保が必要です。

また、緑の多様な機能をさらに高めるためには、水と緑のネットワークを形成することが重要であり、ネットワークの形成においては、生物多様性に配慮することが必要です。

このようなことから、本県における広域的な緑のあり方を以下のように考えます。

## 県土の骨格を形成する緑地の保全

- 地球環境や都市環境の保全、土砂災害の抑制、景観形成などの多様な機能を持っている都市を取り巻く三河山地などの大規模な樹林地、また、これらの樹林地と海をつなぐ大河川や自然海岸、干潟等は、県土の骨格を形成する緑地として保全します。

### ■県土の骨格を形成する緑地

- 大規模な樹林地(尾張北東部、東部丘陵、三河山地、知多半島及び渥美半島の樹林地)
- 大河川(木曾川、庄内川、矢作川、豊川)
- 自然海岸・干潟等(知多半島、渥美半島、三河山地南西端部などの海岸、藤前干潟、汐川干潟)

## 広域的な緑の拠点となる広域公園や都市基幹公園等の都市公園の確保

- 都市環境や生物多様性を保全し、広域的な交流拠点、東海・東南海・南海地震等の災害時の避難地や活動拠点、健康づくりの場となる国営公園、広域公園及び都市基幹公園等を確保します。

### ■広域的な緑の拠点となる都市公園

- 国営公園(木曾三川公園)
- 広域公園(愛・地球博記念公園など)
- 健康づくりの場となる都市基幹公園等(豊田市、豊橋市などの総合公園、運動公園)

## 生物多様性に配慮した水と緑のネットワークの形成

- 本県の都市を取り巻く大規模な樹林地は、里山として豊かな生態系を支える基盤となっています。その豊かな生態系を育むため、里山と大河川や市街化調整区域に広がる農地とのネットワークを維持・強化します。
- 市街地内は、河川を軸として多様な主体の身近な緑の充実により、生活の質を高める水と緑のネットワークを形成します。
- ネットワークの形成においては、コアエリアやコリドーを確保し、それらをつなぐことで生物多様性に配慮します。

### ■水と緑のネットワークを形成する緑

- 里山(尾張北東部、東部丘陵、三河山地、知多半島及び渥美半島の樹林地)
- 大河川(木曾川、庄内川、矢作川、豊川)
- 農地(濃尾平野、西三河平野、東三河平野等の市街化調整区域の農地)
- 市街地内の水と緑のネットワーク(木曾川、庄内川、矢作川、豊川、日光川、新川、五条川、矢田川、堀川、天白川、境川、逢妻女川、逢妻男川、乙川などの河川周辺)



広域的な緑の配置図

凡 例		
県界	—	
都市計画区域界	—	
市町村界	—	
市街地	■	
県土の骨格を形成する緑地	県土の骨格を形成する緑地(里山)	■
	県土の骨格を形成する緑地(都市計画区域外の樹林地)	■
	県土の骨格を形成する緑地(大河川)	■
	自然海岸・干潟等	■
広域的な緑の拠点	国営公園	●
	広域公園	●
	都市基幹公園	●
	その他の都市公園	●
水と緑のネットワークを形成する緑	公共施設緑地	○
	里山ゾーン	■
	大河川のネットワーク	■
	農地	■
主要な河川	主要な河川	■
	市街地内の水と緑のネットワーク	■

注) 里山ゾーンは、里山を地域や地形により、区分したものです。

# 具体的な施策及びリーディングプロジェクトの体系

